



### — 紀元祭・尺八の奉奏 —

令和2年2月3日

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

令和2年3月15日

第 77 号

発行所

阿蘇神社社務所  
多良見町化屋862  
☎ 0957-43-5235

令和2年3月15日

第 77 号

発行所

阿蘇神社社務所  
多良見町化屋862  
☎ 0957-43-5235

## おみくじ

阿蘇神社  
富司 大 島 大 明

「おみくじ」は御神籤(御御籤)と書き物事の吉凶を判断したり、神さまのお告げ(神意)をうかがうものです。子供にも大人にも大人気の「おみくじ」ですが、近年様々な種類の「おみくじ」が登場して賑やかになつてきました。

当社では「普通みくじ」「福みくじ」の二種類ですが、神社によつては数種類、中には十種類以上のおみくじを並べる神社もあるようですが、

「おみくじ」には、和歌や神様の言葉などの他に、項目ごとの運勢が書かれています。内容は今一度も大吉であればこれ以上はないため、吉・中吉を好む人も多いようです。

## 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいたきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

## 恒例 節分祭恙なく終了!!



-豆撒き-

諫早市の迎春行事の一つとされる、阿蘇神社の節分祭が二月三日に斎行されました。心配された天候も崩れることなく、境内は一年間の福を求める参拝者で大いに賑わいました。

午後五時に節分祭の神事が斎行され、氏子崇敬者の平穏無事と諸産業の繁栄を祈念する祝詞が奉上されました。引き続き本殿前の斎場では旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手等を焚き上げる火焼神事(ほやきしんじ)が行われました。

恒例の豆撒き行事には、子(ネズミ)歳生れの年男・年女二十七名が三回に分かれて参加し、豆撒きを行いました。豆撒き奉仕者は、袴姿に身を正し、神前でお祓いを受けて舞台へ移動、「福は内・鬼は外」の掛け声のもと豆撒きを行いました。

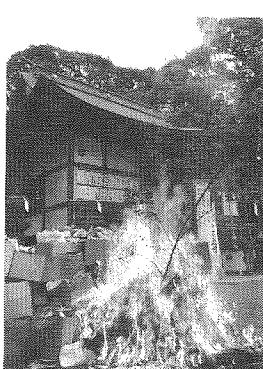
火焼神事の終了後に北島総代会長等の手によって火が着けられました。火焼神事は午後九時まで行われ、多くの参拝者が手を合わせていました。



-総代の餅まき-

境内には商工会の青年部、女性部などの出店が並び阿蘇神社の節分祭は賑わいました。

三回目の豆撒き終了後、神社総代が舞台に上がり、餅撒きを行いました。まず北島勝幸総代会長が謝辞を述べ、その後総代全員で一年間の開運招福を願った餅撒きを行いました。一年間の福を始めた餅は、紅白の小餅で毎年一年間の日数分が用意され、今年は閏年のため三六六袋が、開運招福の願いをこめて撒かれました。



-火焼神事-

### ◇豆撒き行事景品提供◇

順不同・敬称略

はんセンター尚美堂、㈱虹の設備、(有)松新、(有)南部建設工業、高屋設備、創作厨房たゞまる、㈱長崎スクラップセンター、ジスコ不動産㈱、ジスコホテル㈱、総合アルミ、長崎産機サービス、㈱多良見住宅、蓮装アルミ、(有)九州インテ

リア、ピザクルサ、(有)西九州商事、事務機のミヤジマ、中山板金工場、(有)菅原産業、(有)丸西自動車、西原電気商会、居酒屋 yan yan、(有)クラウンドライ、こばやし整骨院、おむすびころりん、㈱森住宅、㈱ナカムラ、(有)みのる、レックセンター、サンターニ根、(有)森商会、㈱九州フジパン長崎工場、㈱タナカ自動車、(有)後田塗料商事、(有)喜々津新聞販売センター、徳永建設㈱、大杉車輛、(有)喜々津ガラスアルミニセンター、おそうじ本舗諫早店、(有)徳永自動車、(有)喜々津ガラスアルミニセンター、おしゃれの店花椿、馬場廣美、(株)十八銀行多良見町支店、(株)親和銀行多良見支店、寺尾電器、山崎設備、RandRcoffee labo、森田薬品、(有)モールアム、ききつメモリードホール、たちばな信用金庫多良見支店、木村装束店、(有)三伸電機、(有)丸創建材店、(株)V・ファーレン長崎、エディオン喜々津店、フランワーショップ花華、十善商店、エスジー工ス(㈱)、グリーングラス、(株)MATSUFUJI、薬舗もろおか、(有)マツショウ、阿蘇神社、㈱みづほ、以上

◇節分祭特別協賛商社芳名  
 関山祥一(長崎市)、千葉剛次、(株)  
 石橋工業、ヤマエ久野(株)長崎支店、  
 森義憲、(株)森開発、(株)森住  
 宅、(株)ティーエム、喜々津カント  
 リー俱楽部、大石ボディ、(株)カス  
 テラ本家福砂屋多良見工場、(株)唐  
 草、(株)ききつ青果、(有)南部建設工  
 業、スナックアロン、(有)多良見碎  
 石、中村医院、(有)徳永自動車、や  
 の皮ふ科、西部ガスエネルギー(株)  
 長崎支店、(株)アサヒ、(有)後田塗料  
 商事、黒木建設(株)、松尾装業、ア  
 ルファ印刷、アポロカーズ、慈恵  
 病院、(有)森商会、(有)やまぐち住  
 建、(株)溝上建装、共栄機械工事(株)  
 九州支店、総合アルミ(株)吉川金  
 属商事、竹迫整形外科、松屋眼科  
 医院、たか動物病院、(有)喜々津新  
 聞販売センター、(株)多良見住宅、  
 (株)小島工作所、(有)あづま屋、(有)菅  
 原産業、(有)もろおか薬品、山崎活  
 魚店、イヌオ胃腸科外科医院、喜  
 徳永建設(株)、マエダ住宅(株)、つく  
 し書道教室、レジカーセンター、三  
 根、西原電気商会、(有)吉野企画  
 建設、(有)やまぐち住建、以上



- 紀元節の歌斎唱 -

## 令和二年 皇紀二六八〇年 紀元祭を斎行！

二月十一日は神武天皇が奈良県檜原の宮に即位された記念の日であります。今年は皇紀二六八〇年に当たります。

紀元祭では、官司が先人の建国の苦労を偲ぶとともに皇室の弥栄と氏子崇敬者を始め、国民全ての幸を祈念する祝詞を奉上。引き続き喜々津三曲会の会員四名により尺八の奉納演奏が行われました。

先ず「越天樂」続いて「八千代」と二曲を神前に奉奏、優雅な尺八の音色が殿内に流れました。

次に尺八を伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で斎唱、最後に総代

会長、評議員代表に続き参列者が順次玉串を捧げ拝礼を行い、祭典を終了しました。祭典終了後は社務所に移動して直会を催し、建国記念日を祝いました。

紀元祭に察し以下の通り初穂料、奉納酒を賜りました。「芳名を記しお札を申し上げます。

◇初穂料 ◇献酒 ◇

松尾清人、喜々津三曲会、(有)森商会	森誠司、JA長崎西彼理事
谷口謙太郎、JA長崎西彼喜々津支店長	米田泰彦、慈恵病院理事
光、森高永久、高柳伸市、峰輝	前山茂大、中路徹、
次、高柳秋雄、村瀬健一郎、西平	英敏、犬塚勇、松山司
辻秋義、川口勉、山下彥	内村典秋、前山茂大、坂井義則、
福田泰昭、黒木康吉、内田克夫、	水勝美、松尾一彦

以上

②注連縄つくり

恒例の「注連縄つくり」は十二月一日に行われました。今年は総代・評議員・元繪代他有志の二十六名が参加されました。

③門松つくり

十二月二十三日に「竹切り」二十九日には「門松つくり」他正月の準備作業を行いました。

④初詣と節分祭

大晦日午後十時、神社に集合。篝火を焚き初詣参拝者を迎えます。午前零時に樽酒の鏡割りを行ない御神酒を振る舞いました。

火燒神事など節分祭諸行事が終了するまで奉仕を行いました。

◇総代会の会務報告◇  
 令和元年度に実施した事業の概略をお知らせします。

①御本殿洗浄塗装工事  
 昭和五十八年に御鎮座四五〇年を記念して改築された御社殿は、雨風に晒され、白木の柱等はカビが生じるなど汚れが目立つようになりました。評議員会での協議を経て、氏子各位より净財を募り御社殿外回りの洗浄と塗装工事を行いました。

令和二年「歌会始」御題「望」

まなびや  
御 製

学舎にひびかふ子らの弾む声 さやけくれとひたすら望む

まなびや  
皇后陛下御歌

災ひより立ち立ち上がらむとする人に

若きらの力希望もたらす

新春恒例の「歌会始」の御儀が  
一月十二日午皇居・正殿「松の間」

でおこなわれました。今年は国内

外から一五、五〇〇首余の詠進

歌が寄せられたそうです。

宮中の新年行事の最後を締めくくる「歌会始」に一般の詠進が認められたのは明治七年、特に優れたものを選歌として披講されるようになつたのが明治十二年、現在のような「歌会始」の形に定着したのは、昭和三年からといわれます。皇室と国民を繋ぐ「歌会始」に参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項（要約）

一、お題 「実」

令和三年の歌会始のお題は「実」ですが、「実」の文字が詠み込まれていれば「実験」「果実」のような

熟語にしても、また「実る」のよう  
に訓読しても差し支えありません。

二、詠進要領

①お題を詠み込んだ自作の短歌で  
一人一首、未発表のもの。

②書式は、半紙（習字用半紙）を横

長に用い、右半分にお題と短歌、

左半分に郵便番号、住所、電話番

号、氏名（本名、ふりがなつき）、

生年月日及び職業（具体的に）を

縦書きで明記。無職の場合は「無

職」でも良いが、以前に職業に就いた事がある場合は、なるべく元

の職業を記載して下さい。

四、詠進のあて先と期間

〔平〕一〇〇一八一一一宮内庁

場合は、代筆でも可ですが、代筆の理由及び代筆者の住所・氏名を別紙に書いて詠進歌に添付のこと。

宛とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は小さく折つて封入して差し支えない。九月三十日

三、注意事項

次の場合は失格となります。

①お題を詠み込んでいない、短歌

の定型でない、用紙が縦長の場合。

②一人で二首以上詠進した場合、毛筆でない場合。

③すでに発表された短歌と同一、または著しく類似する場合。

④詠進歌を歌会始の行われる以前に、新聞、雑誌その他の出版物・年賀状等で発表した場合。

⑤その他詠進要領に依らない場合。

◆あとがき◆

令和最初のお正月、好天に恵まれ多くの参拝者を迎えることが出来ました。顧みれば昭和六三年九月に着任、爾來神社總代、評議員各位を始め多くの方の御厚情をいたいて参りました。令和の御代

も変わらぬご高配を賜りますようお願い申しあげます。▼今年は東京五輪の年。前回（昭和三九年）と

は違つての暑い最中での開催になります。猛暑にならないことを願

うばかりです▼昨年末中国で発症が確認された新型肺炎、国内での

感染が心配です。早期の沈静化を

祈念したいと思います。

◇奉納御礼◇

年末年始に以下の通り奉納を賜りました。御礼を申し上げます。

一、鏡餅一重 中村 晉 殿  
一、蜜柑枝 森 藤男 殿  
一、境内用玉砂利 (有)多良見碎石 石場 一広 殿

一、初穂料 德永孝次 殿  
德永建設㈱ 松尾 興一郎 殿  
江崎譲一 殿  
八江天照殿